

平成24年度 新収蔵美術品紹介

当館では、市民の芸術文化振興を図るため、新潟市北区にゆかりの深い美術品を収集・公開しています。今年度は、平成25年2月—3月に開催した「本間公司彫刻展」の出品作品から、「橋'04-I」（本間公司作／表紙図版）を購入し、同氏から寄贈を受けた2点とあわせて、本間氏の彫刻作品3点を収蔵しました。

本間公司の彫刻

本間公司は、新潟大学教育学部で塑造による人体彫刻を学びます。在学中に、新潟県美術展覧会で県展賞を連続受賞して注目を集めた彼は、1年間イタリアの国立ローマ美術学院で学び、卒業後は新潟大学の研究科と愛知県立芸術大学大学院で研究を深めました。

中学校で美術教育に携わる本間は、塑像制作のための環境の確保が次第に難しくなり、別の手法による彫刻表現を模索していきます。それは、彼が塑像を石膏像に移しかえる時に行っている〈型取り〉から着想された仕事でした。「'94表象」（図版右）は、地面を石膏で直接写し取った作品です。立体作品の量塊という要素よりも、むしろ〈面〉に着目したこの仕事は、ほどなく板材を用いた面による構成へと発展し、形態は、具象的な人間像から、「橋'04-I」（表紙）や「街'07」（図版下）にみるように、人間をとりまく世界を幾何学的な構造体としてとらえた造形へと展開していきました。

〈寄贈作品〉「'94表象」1994年
石膏、アクリル絵の具 91.3×40.2×32.6cm



〈寄贈作品〉「街'07」2007年
木、アクリル絵の具 120.8×54.4×51.6cm

本間公司 略歴

- 1958年 4月18日、新潟県佐渡郡相川町（現佐渡市）に生まれる。
- 1977年 新潟大学教育学部中学校教員養成課程美術科（上越市）に入学。
- 1978年 彫刻制作を渡邊利愷氏に師事する。
- 1979年 第34回新潟県美術展覧会に「みつあみの女」を出品し、県展賞を受賞。
- 1980年 第35回新潟県美術展覧会に「つばさ」を出品し、県展賞を受賞。
9月、国立ローマ美術学院彫刻科に入学し、エミリオ・グレコ氏の教室で学ぶ。81年8月に帰国。
- 1982年 新潟大学教育学部を卒業し、研究科（新潟市）で、塑像制作を中心に研究を深める。
- 1983年 第12回新潟県芸術美術展に「E L L A」を出品し、連盟大賞を受賞。
- 1984年 愛知県立芸術大学大学院彫刻科に入学し、古島実氏に師事する。
第39回新潟県美術展覧会に「Figura」を出品し、奨励賞を受賞。
翌年から無監査として出品を続ける。
- 1986年 愛知県立芸術大学大学院彫刻科を修了。
第60回国展に「orario」を出品。
- 1988年 新潟県彫刻会会員となり、第6回新潟県彫刻会展に出品。第10回から連続出品。
- 1997年 シリーズ新潟の美術'97(主催 新潟県立近代美術館・新潟日報社ほか)に出品。
中条町立乙中学校（現胎内市立乙中学校）50周年記念モニュメント「風の詩」（ブロンズ）を制作し、設置される。
- 2004年 新潟市美術館で個展を開催する。
- 2006年 第2回新潟の作家100人（主催 新潟県立万代島美術館・新潟日報社ほか）に出品。
- 2013年 本間公司彫刻展（主催 新潟市北区郷土博物館）が開催される。